

水産物の市況について(令和元年5月及び6月)

—東京都中央卸売市場における令和元年5月(令和元年4月21日～5月20日集計)の市況と、
令和元年6月の市況見通し(前月との比較)—

I 令和元年5月の全体の市況

東京都中央卸売市場における総入荷量(水産物の生鮮品、冷凍品及び加工品の合計)は、例年より長い大型連休のため減少したものの、卸売価格(水産物全体の1キログラム当たり平均価格)は、さば類等が産卵等で身質が低下し価格を下げたこと等から、やや弱含みに推移しました。

II 令和元年6月の主要品目の市況見通し

「まいわし(生鮮品)」

入荷量は、増加すると見込まれ、卸売価格は、弱含むと見込まれます。

「さけ・ます(塩蔵品・冷凍品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「さば(生鮮品)」

入荷量は、増加すると見込まれるものの身質やサイズが向上することから、卸売価格は、やや強含みに推移すると見込まれます。

「するめいか(生鮮品・冷凍品)」

生鮮物の入荷量は、日本海の水揚げが本格化することから増加すると見込まれることから、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。冷凍物の入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「あじ(生鮮品)」

入荷量は、横ばいと見込まれ、卸売価格は、横ばいと見込まれます。

「まぐろ(冷凍品)」

入荷量は、脂物のクロマグロ・ミナミマグロの入荷が少ないためやや減少し、卸売価格は、高値横ばいと見込まれます。

「かつお(生鮮品)」

入荷量は、三陸の水揚げが本格化することから増加が見込まれ、卸売価格は、やや弱含むと見込まれます。

凡例(目安)

増減率	入荷量	卸売価格
0～2%	横ばい	横ばい
3～10	やや増加(減少)	やや強(弱)含む
11～20	増加(減少)	強(弱)含む
21～50	かなり増加(減少)	かなり強(弱)含む
51～	大幅に増加(減少)	—

東京都中央卸売市場への総入荷量・卸売平均価格(概数)

(単位:千トン、円/kg)

	5月		前月		前々月	
	入荷量	価格	入荷量	価格	入荷量	価格
元年	30	1,075	36	1,088	29	1,095
前年	34	1,030	38	1,045	33	1,069

注1:入荷量及び卸売価格は、それぞれ前月の21日から当月の20日までの暫定数値。

注2:入荷量は生鮮品、冷凍品及び加工品の合計。

主要品目の価格

(単位:円/kg、%)

	東京都中央卸売市場卸売価格(概数)			
	5月	前月対比	前年同月対比	平年同月対比
いわし(生鮮品)	285	85	100	91
さけ・ます(平均)	1,114	101	111	126
(ぎんざけ塩蔵品)	1,067	98	107	117
(あきさけ塩蔵品)	762	99	105	120
(ときさけ塩蔵品)	1,037	100	90	100
(べにざけ塩蔵品)	1,365	99	104	128
(さけ類冷凍品)	1,045	99	107	123
さば(生鮮品)	322	85	91	91
するめいか(平均)	956	100	111	159
(生鮮品)	986	100	111	161
(冷凍品)	909	100	110	154
あじ(生鮮品)	439	85	84	82
まぐろ(冷凍品)	1,578	100	100	106
(めばち冷凍品)	1,104	99	97	104
(きはだ冷凍品)	1,024	90	100	104
(くろまぐろ冷凍品)	3,344	107	100	93
(みなみまぐろ冷凍品)	2,293	113	109	105
かつお(生鮮品)	442	57	72	69

注1:品目により、市場で水産物の大きさ等が異なることから、主要な水産物の価格データを掲載。

注2:5月の価格は1~20日までの速報値を元に算出。平年とは平成26年~30年の加重平均値。

注3:さけ類冷凍品は、主として、ぎんざけ、あきさけ、ときさけ、べにざけ及びアトランティックサーモンが含まれる。

注4:さけ・ます(平均)は、さけ・ます類全般の塩蔵品及び冷凍品が含まれる。

注5:まぐろ(冷凍品)は、めばち、きはだ、くろまぐろ及びみなみまぐろが含まれる。

問合せ先:水産庁加工流通課企画調査班 代表 03-3502-8111 内線 6617 北川、長谷川、大和田 直通 03-3591-5612
--